

<従来の ACP ファシリテーター養成研修会の中止について>

・新型コロナウイルス感染症に係る状況を考慮して、従来の、ACP ファシリテーター養成研修会（以下、ACP ファシリテーター養成研修会＝同研修会）を中止します。

<中止対象>

- ・2020年2月22日の同研修会
- ・2020年4月25日の同研修会
- ・2か月毎の偶数月に行っておりました今後の同研修会

<中止理由>

- ・第一の理由は、皆様の携わる医療ケア体制を守るためです。
- ・第二の理由は、市民としての皆様自身を守るためです。
- ・2020年3月19日、国の専門家会議の「提言」を受けて、上記のように考えました。

<中止理由の根拠>

- ・国内では、新型コロナウイルス感染者が、都市部を中心に少しずつ増えています。
- ・国内では、高齢者施設で集団感染が発生する事例があります。
- ・国内では、感染源が分からない感染者が増えている地域が散発的に発生しています。
- ・諸外国からの、新型コロナウイルス感染症の流入が続いています。
- ・国内の感染情報については、日々、様々な手段で、手に入れることができます。しかし、それらは、14日前の感染事実に基づいた情報なのかもしれません。言い換えれば、現在の感染事実が、情報として反映されるのは、14日後なのかもしれません。14日も経過すれば、状況が一変する可能性があることは、諸外国の状況を見れば、明らかなように思われます。
- ・今後の見通しは、あるとき突然爆発的に患者が急増する「オーバーシュート」が起きると、医療ケア体制に過剰な負担がかかり、適切な医療ケア体制を提供できなくなります。
- ・従来の同研修会は、新型コロナウイルス感染症の、3大発生条件である、1) 換気が悪い密閉空間、2) 人が密集している、3) 近距離での会話や発声、このうち、2) 3) にあたります。ロールプレイやグループワークが豊富なことが売りになっている従来の同研修会は、特に、3) の条件をクリアできません。
- ・従来の同研修会は、新型コロナウイルス感染症の、3大基本戦略である、1) クラスター（集団感染）の早期発見、2) 重症者への集中治療の充実、3) 市民の行動を変える、このうち、1) 2) に悪影響を与えます。介護現場で働く皆様は、1) への影響、医療現場で働く皆様は、2) への影響が大きいと推察されます。1) クラスター（集団感染）を新たに作り、2) 重傷者への集中治療に携わる人材を奪い、医療ケア体制を崩壊させる可能性があります。医療ケア提供者が感染したら、もしくは感染者と濃厚接触したら、最低でも2週間は治療や自己隔離が必要になります。医療ケア体制を崩壊させる可能性があります。

・専門家会議は、引き続き、全国的な大規模イベントについては、慎重な対応を求めています。感染リスクへの対応が整わない場合は、「中止」や「延期」を考慮すべきと述べています。

・専門家の意見を考え合わせると、約60%の人が感染し集団免疫ができ、ワクチン接種が進むまでの、約2年間は、日本全国でみると、終息、あるいは収束しないと、心つもりするほうがよいという意見があります。

・以上が、従来と同研修会の中止理由の根拠です。これらが、杞憂に終わることを願っています。何卒宜しく願い申し上げます。

<今後>

・国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部のHPからの、従来のACPファシリテーター養成研修会の募集は、当分の間、行いません。

2020年3月22日

西川満則